

みおつくし



放送大学大阪学習センター 2023年4月発行



「鶴見緑地公園風車と花の丘」
(7階廊下)



「同志社大学クラーク記念館」
(図書・視聴学習室)

西原 浩 大阪学習センター第3代所長寄贈 水彩画 (8ページに関連記事)

《目次》

巻頭言

- そこに「発言」があるから 1
- ◆ 客員教員の退任ご挨拶 2
- ◆ 客員教員の着任ご挨拶 3
- ◆ 「勉強会」及び「学習相談・指導」について 4

実施報告

- ◆ 大阪SCオープンキャンパス 5
- ◆ 2022年度第2学期情報処理実習 5
- ◆ 2022年度第2学期大阪SC学位記授与式 6
 <卒業・修了生からの喜びの声>
- ◆ センター6階学生控室の利用再開について 7
- 【特集】西原浩第3代所長を偲んで 8
- 【特集】大阪学友・同窓会だより 11

開催案内

- ◆ 卒業研究履修ガイダンス 12
- ◆ 2023年度第1学期学習支援の集い 12
- ◆ 2023年度卒業研究チャレンジ勉強会 12
- ◆ 2023年度修士チャレンジ勉強会 12

お知らせ

- ◆ 事務室 13
- ◆ 図書・視聴学習室 18
- ◆ キャンパス・スケジュール 20

サークル紹介

- ◆ 放送大学関西陸上競技部 21
- ◆ 放送大学おおさか若者のつどい 21

巻頭言

そこに「発言」があるから

大阪学習センター客員教授 堀江 剛



昨年度から、大阪学習センターで「哲学対話を楽しむ」という授業を担当しています。哲学と言えば、やたら難しい専門用語で人を煙に巻く、ひとり沈黙考する、アリストテレスやカントといった難解な古典に精通しているといった「哲学研究」のイメージですが、「哲学対話」はそうではありません。日頃私たちが出会う具体的な体験と日常の言葉だけで、そしてひとりではなくみんなで話し合うことです。

それで「哲学」できるのか、何が目的でそんなことをするのか、何の役に立つのか、といった疑問もあるでしょう。あえて言い放ってしまえば、特に目的といったものはありませんし、直接何かの役に立つかどうかも分かりません。ただ、みんなと対話を「楽しむ」ことです。具体的な体験に基づいて、粘り強く人の発言を聴き、また自分の思っていることをなんとか言葉にしようとする、これを積み重ねていくだけです。それが、不思議と「楽しい」時間となる。楽しむのに「目的」や「役に立つかどうか」を問うのは、野暮というものでしょう。それで本当に「哲学」になるの、と訝る人もいます。けれども、それがなくなってしまふ。

哲学対話の「目的」については、こんな比喻を持ち出すこともできるでしょう。一人の山男が「なぜ（何の目的で）山に登るのか」と問われるとき、答えは「そこに山があるから」です。同じように、一人の哲学者が「なぜ哲学するのか」と問われたとします。どう答えるでしょう。「そこに哲学があるから」でしょうか。確かに、壮麗で険しそうに見える「山」と同じく、壮麗かどうかは別として、難しそうに見える「哲学書」に立ち向かう魅力を言うことはできるかもしれません。しかし、これは「哲学研究」の話。



さて、哲学研究ではなく「哲学対話」（に参加する人たちが）、なぜ哲学するのか。もしくは、なぜ哲学することになってしまうのか。私の考える答えは、そこに「発言」があるから、というものです。よく分かる話でも分かり難そうな話でも、誰かが何か発言する。そこで別の誰かが「よく分からない」とか「それってどういうことなの」と問いかけることもあれば、思わず「あるある」とか「それなー」などと応じることもある。話が噛み合うこともあれば、そうでないときもある。こうした「発言」のやりとりそれ自身の魅力、話が噛み合ったときの楽しさです。もちろん噛み合わないときもあるでしょうが、粘り強く対話を続けた後、眼前に開けてくる「絶景」もまた魅力。山男の気持ちと、同じではないでしょうか。

もちろん、哲学対話には深く練られた「方法論」があります。進行役は、それをよく知っていて、なにげに「楽しむ」ための工夫を凝らしています。危険を察知して、参加者の発言に「待った」をかけることもあります。山のガイド役ですね。面接授業や勉強会で私が進行役を務める「ソクラテック・ダイアログ」は、哲学対話の方法としてはハードな部類に属するのかもしれませんが。何しろ、たった一つの「問い」をめぐって丸々二日間、一つの「答え」を目指して少人数で取り組む本格的な「哲学対話」ですから。それだけに、様々な発言が協力合って、なんとかたどり着いた先の景色もまた、哲学的な示唆を得るたくさんのものを含んでいると感じています。それが、もしかすると人生の「役に立つ」かも。

（大阪大学大学院人文学研究科・教授）



客員教員の退任ご挨拶



2023年3月末で退任された先生から、ご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

退任のご挨拶

客員教授 松浦 敏雄

2018年から5年にわたり大阪学習センターでプログラミング入門の面接授業と勉強会でお世話になりました。実は2008年から2013年までにもお世話になっており、合わせて10年になります。この3月末をもって退任させていただきます。

勉強会では、主としてコンピューターやインターネットなど広く利用されているIT技術のしくみなどについてお話させていただきました。受講者の皆さんはとても熱心に聞いてくださって、活発に質問もしてくださったので、とても楽しい時間を送ることができました。



AI、IoT、Block Chain、NFTなど情報技術に関する新しい言葉が次々と現れてきています。情報技術に関連したトラブルなども頻発しています。マスコミやSNSから発信される情報がこれらの本質を正しくとらえていないことも少なくありません。何が本質で何が重要なのかを見極める力を養うことが大切です。勉強会でのお話がこのために少しでもお役に立てていたら嬉しい限りですが…。

西田正吾前所長、金水敏所長をはじめとする大阪学習センターのスタッフの皆様、および、面接授業、勉強会、情報リテラシー講座の受講者の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

(大阪市立大学・名誉教授)

勉強会参加学生より松浦先生へ

- ・難しいコンピューターの話や、歴史から分かりやすくお話いただきました。先生の講義を聞くと、自分がかしこくなるような気がして、とても楽しみでした。最後の「ChatGPT」のお話もよかったです。(全科履修生・中川芳美)
- ・今となってはコロナで勉強会が少なくなったことが残念でしたが、この勉強会で大変忙しくなりました。勉強会をきっかけにプログラムの勉強を始めたからです。今はまだ始めたばかり、そして独学ですが、やる気になっています。(全科履修生・芹澤伸光)
- ・先生が来られた当時からお世話になりました。懐かしいお話も多く、希望の日々でした。コンピューターは私の青春の一部でもありました。(全科履修生・立岡正裕)
- ・敷居が高かった分野のを知るきっかけになりました。PC、インターネットは今の日常生活で利用するので、勉強会に参加させていただいてすぐに生活のあれこれの感じ方が変わりました(今までより快適になりました)。
- ・コロナで勉強会が中断されたのが残念です。先生の授業がとても楽しかったです。もっと早く先生にお会いしたかったです。ありがとうございました。

客員教員の着任ご挨拶

2023年4月から新たに2人の客員の先生をお迎えしました。ご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

大阪学習センター客員教授

渡邊 英理 (わたなべ えり)

この春より客員教員となり、勉強会や学習指導などを担当いたします。わたしの専門は、近現代の日本語文学です。研究の柱のひとつは、熊野出身の作家・中上健次です。戦後生まれで初の芥川賞受賞者である中上健次の文学を読むと、長い日本語のことは(言の葉、事の葉)の記憶を旅しているような気持ちになります。そこでは、過去の文学が書き換えられ新たな生命を与えられているためです。またひとつの意味にとどまることなく多方向に開かれた言葉、あるいは複数の声が聞こえてくる言葉の響きにも触発されます。

同様の魅力を感じる石牟礼道子の文学、そして崎山多美や干刈あがたなど、沖縄奄美群島ゆかりの作家や多言語作家の文学についても研究し、現代文学や思想について時評や批評も手がけています。



文学の言葉を読むことの意味とは、何か。この問いに対する答えは人それぞれで、また答えは必ずしもひとつではないでしょう。一人の読み手としてのわたしにとって、それは、この世界をかけがえのないものとして生きるための言葉の礎を見つけることにあります。ご一緒に文学の森を旅し、言葉の杖を見つけることができれば、と願っております。

(大阪大学大学院人文学研究科・教授)



大阪学習センター客員教授

安留 誠吾 (やすとめ せいご)

2023年4月から勉強会と面接授業を担当させていただきます。

私は、中学生の頃に日本電気(NEC)から発売されたパーソナルコンピュータPC-8001に出会いました。これをきっかけに情報の分野に進学し、現在は、学習システムの研究をしています。そう思っていたのですが、最近思い出したことがあります。PC-8001に出会った頃に数学の授業で因数分解の公式を学習したので、因数分解を学習するプログラムをBASIC言語で書きました。これが今の仕事のルーツだと気づきました。皆さんは何に興味がありますか?すでに興味がある分野に出会いましたか?情報の分野ではChatGPTが色々な分野で賑わっています。少し前にはブロックチェーンが登場し、今も様々な分野で活用されています。このように、日々新しい技術が生まれ、新しいサービスが始まります。しかし、ベースになる技術や知識は同じです。



勉強会では、これからの情報社会を生き抜くために必要なコンピューターやインターネットの仕組み、そしてAIなど情報科学の基礎を学びます。また、情報に関わる最新の話題を取り上げて、議論したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(大阪工業大学情報科学部・教授)



「勉強会」および「学習相談・指導」について

大阪学習センター所属の客員教員による「勉強会」および「学習相談・指導」をご紹介します。
どちらも無料で、事前予約制です。

- 「勉強会」は、13名の客員教員が専門分野の講義を担当しています。
単位の付与はなく、一般の方もご参加いただけるので入学を検討中のご友人がおられましたら、ご紹介ください。
参加申込みはウェブで行います。実施の前月20日ごろセンターウェブサイト「大阪学習センターからのお知らせ」でお知らせします。ウェブ環境がない方はお電話でお申し込みください。



- 「学習相談・指導」は、学習の方法、進め方、卒業研究、大学院進学など、みなさんが学習を進めていく上で生じる様々な疑問や質問に応じるため、所長はじめ13名の客員教員の先生方が実施します。
「学習相談・指導」の申込みは、センターウェブサイトより申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、事務室へご提出ください。(申込用紙は事務室にもございます。)申請後、先生と日程調整をいたします。(客員教員は原則勉強会の終了後に実施します。)相談希望日の1週間前までに申請してください。事務職員で対応可能なものは随時お電話でご相談ください。



■勉強会一覧：日程、概要等の詳細はウェブサイトまたはセンター内掲示でご確認ください。

タイトル	講師	専門分野
哲学対話を楽しむ	堀江 剛	哲学・倫理学
夏目漱石を読む	渡邊 英理	近現代日本語文学
言語人類学入門	榎本 剛士	語用論・言語人類学・記号論
日常生活で遭遇するかもしれない民事紛争	長谷川 義仁	民法
近現代の日本経済と企業経営の歴史	廣田 誠	近・現代日本経済史
生き方の発達心理学	白井 利明	発達心理学
心理学について考える	入戸野 宏	実験心理学
数学の話題あれこれ	小林 治	幾何学
固体力学アラカルト	小林 秀敏	材料力学 (衝撃工学&植物バイオメカニクス)
身の回りの科学：Starting SCIENCE	佐藤 尚弘	化学 (高分子化学)
身近な遺伝学の話	酒井 規夫	小児科学
“生きる”を支える看護の実践と科学	佐藤 都也子	看護学
情報ってなに	安留 誠吾	情報工学

実施報告



大阪学習センターで1月から3月に開催した行事を報告します。

大阪学習センター オープンキャンパス

2月5日(日)14時から、2023年4月入学を検討されている方のためのオープンキャンパスを開催しました。当日は、金水所長の挨拶に始まり、事務長から放送大学の概要と学習方法等の説明の後、所長による模擬授業、施設見学会が開催され、事前申込された約20名が参加されました。参加者からは、印刷資料だけでは分かり辛かったところを詳しく聞いてよかった、模擬授業で大学の講義を体験できた、大学で学ぶのが楽しみになったという感想が寄せられました。

当日の様子は、後日、大阪学習センターウェブサイトでオンライン(YouTube)配信し、多くの方に視聴いただきました。



所長による模擬授業

2022年度第2回情報処理実習「情報リテラシー」



松浦 敏雄 客員教授

3月11日(土)・12日(日)に、松浦 敏雄客員教授と、大阪大学大学院生2名を講師に招き、情報処理実習「情報リテラシー」を開催し、16名が参加されました。この実習は、パソコン初心者のために、大阪学習センターが独自に開講しているものです。開講にあたり、金水所長より、放送大学の学習でもパソコンはますます必要になってきており、情報リテラシーは學術の“米”、無くてはならないものであるとの、この実習を通じて苦手意識や不安を取り除いてほしいと激励がありました。

実習内容は、パソコンの基礎、インターネットやメールについて、OfficeソフトのWord、Excel、PowerPointの他、コロナ禍で多く利用されることになったWeb会議システムZoomの使い方についての説明がありました。

松浦先生には、5年間、この実習で大変お世話になりました。ありがとうございました。

以下に、今回の受講生の感想をご紹介します。



講師のお二人

自己流でPCを使っているのですが、分かっているようでなかなか自信をもって使えません。今回、丁寧に説明していただいて、有難かったです。

WordやExcelは初めてでしたので、帰宅してから、授業を思い出しながらテキストで勉強します。今まで怖くて触れなかったボタンも、安心して触れます。

仕事で使うことも多いのですが、Wordについてほとんど知らずに使っていると分かりました。面接授業のレポートでも使うので、グラフ作成等についてもう少し練習課題があるとよりうれしかったです。

Zoom体験が楽しかったです。

質問しやすい雰囲気がよかったです。非常に参考になりました。

なんとなく使っていたWord、Excelの理解を深めることができました。使っていくことで経験値をあげていきたい。

本を読みながら自力で試したWordやExcelの使い方と違って、この場で教えてもらったことは覚えられたように思います。PowerPointの利用方法を学ぶことができたので、使って発表できるように、ますますいろいろな勉強をしようと思います。

これまでからPCに触れることも多かったのですが、いかに我流であったか、苦手な分野の食わず嫌いも多かった気がします。学生時代はいわゆるワープロ世代で、入力ばかりに気を取られていましたが、今回その入力で助けられたこともあり、無駄なことはないのだと感じました。春からPTA役員予定で、PCリテラシーの活用場面が増えそうです。

PCの起動から教えていただき、何回もわからないところを丁寧に指導いただきました。家で復習します。日頃、困ったときに教えてもらえる場所があればと希望します。

2022年度第2学期 大阪学習センター学位記授与式



3月26日(日)14時30分から、2022年度第2学期の学位記授与式を執り行いました。第2学期の卒業生は、教養学部170名、修士課程12名です。ご卒業・ご修了誠におめでとうございます。

授与式は、事前に申し込みをされた32名が出席され、岩永学長のビデオメッセージ、金水所長式辞、大阪学友・同窓会会長 多田 和恵 様からの祝辞に続き、卒業生代表 日野 増夫さんから答辞が述べられました。当日は、YouTube「大阪学習センターチャンネル」でオンライン配信しました。

また、本センター卒業生のうち以下3名の方に、名誉学生の称号が付与されましたので、栄誉を称えご紹介いたします。誠におめでとうございます。

日野 増夫、坂本 政治、高尾 良則 (順不同)



所長の式辞



名誉学生表彰



卒業生代表の答辞

卒業生・修了生から喜びの声

修士課程 情報学プログラム 吉村 有弘

毎月の所属ゼミと3ヶ月に1度の合同ゼミに加え、学会活動に積極的に参加しました。学会で知り合った他大学の院生と「やさしい日本語」等の共同研究ができました。日本音響学会関西支部若手研究者交流会に自称若手でも参加できると知り、修論提出直前のM2の11月に参加しました。アンドロイドなどの研究をしている研究者たちと意見交換でき、よい刺激となりました。また、修論公聴会の前日には情報処理学会プログラミング・シンポジウムで、Pythonを使った発話速度・対話速度の計測方法について発表しました。入学前は使えなかったPythonを使って、統計分析、テキスト・音声・画像分析がある程度できるようになり、まさにリスキングをしていた2年間だったように感じます。修士課程での勉強を、今後社会に活かしていきたいと思います。



生活と福祉コース 富山 瑞

看護専門学校を卒業し、看護師をしています。看護学校では看護学に特化した教育を受けているため、論理的思考を持つような教育は少なく感じています。経験年数を重ねても経験値だけでは補えない教育を受けて知見を広めたいと思い編入しました。実際に仕事・家庭・勉強の両立は大変でした。隙間時間を見つけて少しずつ積み重ねました。大人になってからの勉強は、学生のときのように敷かれたレールを走るわけではないので勉強への姿勢も違います。看護学以外の科目も履修して、もっと色んな世界を見ることができたのも放送大学だからできたことだと思います。講義のレポート課題であった博物館に足を運んだ際に、今までと見え方が違ってすごく楽しかったことも思い出です。お昼頃からいたはずなのに、あっという間に閉館時間になっていました。今は次の目標である看護学位申請に向けて、準備を進めています。放送大学で得た知識だけでなく、「頑張る力」や「やりぬくこと」はこれからの私の人生を豊かにしてくれると思います。

人間と文化コース 野村 和男

「NHK ホールに出席への道のり」

NHK ホールで2023年3月25日に開催された2022年度学位記授与式に出席した。そこへ行くには、7年という期間の歳月が経った。第1回目に卒業をしたときは、学位記授与式に参加できると思っていた。ところがコロナ禍が始まり、式が執り行われるか中止になるか二転三転をした。結局は中止になったことで、宿泊先を涙を飲んで二度キャンセルをした。継続入学はもともととする予定であるが、早く二年の歳月を必要とする。学業や仕事をしていない者にとっては、時間の経つのが早く感じるものです。しかしながら、通信制である本学の学生は、私も含めて学業と何らかの仕事(育児や在宅介護等々)の両立。一日、一週間、一ヶ月などの時間の流れが長く感じるから、二年間の時間の流れが長いこ

と。そこへ卒業要件の単位修得をしないと、「卒業確定」にならない。

9月卒業した学友さんが「会場がどこで執り行われるか」を本部に尋ねると、「NHK ホール」との回答。

第2学期に必要な要件科目を多めに履修してなんとか合格をし、「卒業確定」に至る。第1回目、第2回目の卒業証書は思い深い。第3回目は、どのような思い出があるのか。愉しみである。



情報コース 日野 増夫

今から29年前、当時の三和銀行王寺支店へ所用で行った折、商品棚に有った放送大学のパンフレットが目にとまりました。私と放送大学の出会いでした。沢山有る通信制大学の中から放送大学を選んだのは、当時、新しかった放送授業に魅力を感じたからです。入学試験が無かったので、ただ学びたい意志さえ有れば良かったのです。学校という場所に通わなくても、何時でも何処でも学べるのは、仕事を持つ身としてはベストの選択でした。仕事以外の目標を持ちたいという強い動機も有り、放送大学生のスタートラインに立ちました。

今までに色々な出会いがありました。新時代の息吹を感じる新しい知識との出会い。色々な世代の学生との出会い。色々な先生との出会い。正に目から鱗が落ちる経験を何度もさせて頂きました。

この度は6回目の卒業です。教養学部全コース卒業、グランドスラムを達成しました。そして放送大学名誉学生の称号が付与されました。今まで大変お世話になり有難うございました。

自然と環境コース 青木 恵子

この度「自然と環境コース」で卒業することができて大変うれしく思います。

‘22年度は人生で初めて卒業研究をした、私にとって特別な一年でした。「ポイ捨てごみの減量化の方策」というテーマも、ごみ拾いをする中でご褒美のようにいただき、この研究の一番の要である質問紙調査も、スクーリング生の方々の熱意のある回答と、職員のご協力によりスムーズに実施できました。そしてこのテーマに適任の指導教員 岩崎教授による的確で熱心なご指導を賜りました。コロナの影響ですべて対面で出来なくて、人生で初めてのゼミも、プレゼンテーションも口頭試問もリモートでした。この一年生まれて初めてのことばかり、ヘルプを発信しながら、もがきながら仕上げるのができ、大変貴重な経験をさせていただいたことを感謝しております。



60歳で入学して気が付けば75歳です。入学して2,3年の頃は新鮮でやる気満々でしたが後半しんどくなり、選択科目も初めの5科目から2ないし3科目に減り、1回目の卒業は6年かかりましたが、若いときに行きたかった大学を卒業出来て感動の卒業でした。以降、9年間やめる選択はなくて続けることができたのは、楽しいからです。次は「情報コース」に再入学し、2年後にはグランドスラム達成の予定です。

先生方の素晴らしい教科書に出会え、新しい発見がいっぱいあり、学友にも出会えて、学んだことを老いの生活に生かせます。放送大学のすべてに感謝いたします。

センター6階 学生控室 の利用再開について

コロナ禍で長らく利用停止していましたが、3月14日(火)より試験的に開室しました。

利用時間は、センター開所日の9時30分~17時30分です。

ご利用の際は、引き続き感染予防にご協力をお願いします。

なお、施設管理の都合上、今後は学生控室に私物を置かれないように、ご協力をお願いします。



感染症対策をした学生控室の様子

3月の開室時に学生控室に残っていた私物は、9月末日までセンターでお預かりした後、処分予定です。お心当たりの方は、早めにお引き取りをお願いします。

【特集】西原 浩 第3代所長を偲んで

去る2022年9月12日に、第3代所長西原浩先生が85歳でご逝去されました。

西原先生は、2002年4月から2008年3月までの6年間にわたり、新たに大阪教育大学天王寺キャンパス中央館へ移転したばかりの大阪学習センターをより充実した施設にするべく、大変にご尽力いただきました。また、在任時に始められた大阪学習センター独自の学生支援イベント「学習支援の集い」、「卒業研究ガイダンス」や「修士課程を目指すガイダンス」は、今もセンターのよき伝統として、発展しながら続けられています。この度、西原 浩先生を偲び、歴代所長の先生方等から思い出をご寄稿いただきました。



大阪学習センター第2代所長 俣野 彰三

昨秋(9月13日)、山本事務長より電話があり、西原先生の訃を告げられた時は、余りにも突然のことで、呆然としました。私の所長停年半年前(平成13年9月)、副学長より後任推薦の依頼があり、私は岸本忠三大阪大学総長(当時)にお願いして紹介いただいたのが、図書館長を経て名誉教授になられた西原先生でした。先生のお仕事は、私には全くわかりません。電子工学で情報関係ではなく、機器そのものの専門家で貴重な存在であるとお聞きしました。放送大学でも高く評価されて、着任早々本部に招かれて放送授業を開始、大活躍されました。幸いにも先生自身も放送大学に愛着を持たれてすっかりとけこまれましたので、私としてもホッとしたことでした。センターの節目の行事には、いつもご案内いただき、私もできるだけ出席、センターの近況など、つぶさにお話いただきました。ある時期のテレビ、新聞によく出てきた防衛大学の西原校長の顔が先生にそっくりで、教授会でも話題になったらしく、伺ったところ、「双子の兄貴です」で一同納得した次第。ご自身の後任推薦では、「理系の所長が3代続いたので、次は文系の候補を推薦する」とのことでした。思い出はつきません。

先生のご冥福を衷心より祈念いたします。

西原 浩先生を悼む

第4代所長 柏木 隆雄

昨年9月の西原先生のご訃報には本当に驚いてしまった。そのほぼ1年前の10月30日、大阪学習センター30周年の式典で久しぶりにお目にかかり、いつものように歓談ののち、阪急梅田駅で翌年の「みおつくし会」での再会を約束してお別れしたばかりなのに、と信じられずにいた。

先生に初めてお会いしたのは、学習センター所長を退任される2008年3月の難波の料亭での「みおつくし会」の席であったか、あるいは同じ頃センターで行われた先生の退任パーティーの場が先だったか。それともお昼にパーティーで、その夜の難波の会だったか。4月から新しい職場となる学習センターを初めて訪れた者には、老若男女の学生たちに囲まれた先生の満面笑みを浮かべられたお顔がまことに印象深く、職員の人たちからも心底から敬愛を受けておられるのがよくわかり、翌月から赴任する新米所長には、ちょっと妬ましくさえ思えたほどだ。

以後、所長退任後にセンターに顔を出される度に、殺到するファンたちになにこやかな笑顔で接していらして、文字通りのミスター大阪学習センターの面目躍如。その西原先生のご逝去から半年、優しく、かつ真摯なお話しぶりを懐かしく思い出している。

＜矜持と含羞＞の人 西原 浩先生を偲ぶ

第5代所長 林 正則

センター事務局から西原浩先生のご訃報を受け取ったとき、先生があいつも変わらぬ、はにかんだような笑顔で、「それじゃ」と軽く手を振って去って行かれる後姿がまぶたに浮かんだ。そのとき、先生にはまたすぐにお目にかかれるのだとしか思えなかった。

先生は私の在任中もしばしば所長室を訪ねてくださって、センターの様子をいつも気にかけてくださった。そんなとき、先生のセンターに寄せる愛着と学生に対する愛情が心に沁みだした。今のセンターのおおらかで、なごやかで、洒脱な気風を作り上げられたのは、西原先生だったのだとしみじみ思った。先生が描かれたたくさんの水彩風景画を眺めていると、どの作品にも対象を見る目の確かさとやさしさが感じられ、先生の学問がどんなものだったのか、先生がセンターの学生とどう向き合っていたのか、よくわかる気がした。

学ぶこと、研究することは孤独な作業だが、同時に一人でできるものでもない。同窓会、履修ガイダンス、サークル活動、河堀祭など学生同士の人間的、知的交流をつねに温かくサポートされ、学ぶとは世界に向かって自分を開いてゆくことなのだと、先生は繰り返し説いておられたように思う。先生の背中を追いかけてきた私だが、おりおり振り向いて私の方をじっと見つめられる先生の＜矜持と含羞＞の眼差しは、いまでも変わらず私を励まし続けてくださっている。

西原 浩先生の思い出

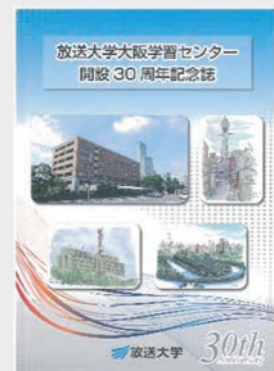
第6代所長 西田 正吾

9月に西原浩先生がご逝去されたという連絡が入った時には、5月の大阪大学創立90周年記念式典でお会いしたところだったので、本当に驚きました。その後、豊中教会での告別式にも参列させていただきましたが、西原先生が教会で多くの若い方々の支援や教育活動を行ってこられたことや教会の皆様から慕われておられたことを知って、改めて先生の素晴らしいお人柄を思い出した次第です。

放送大学においても、私が所長を務めさせていただいた7年間の間、先生とは毎年3-4回はお会いしておりました。秋の美術展には毎年2点の水彩画をご出展いただき、表彰式にもご出席いただきました。又、放大河堀祭にも、イスラムのお話をさせていただいた高橋和夫先生や元学長の岡部洋一先生の講演会等にご出席いただきましたし、大阪SC開設30周年記念式典の日にも、センターに来ていただきました。この30周年記念誌では、先生の水彩画3点を表紙（右写真）に使わせていただいたことも記憶に新しい所です。

最も強く印象に残っていることは、先生の所長在任中に、大阪SCでガンでなくなった学生さん（この方は大阪SCをこよなく愛しており、死の直前までセンターに来ていたと聞いております）がおられたのですが、この方のことを北野生涯教育振興会の懸賞論文「死に逝く者の学びから得たもの」に取り上げて入選した三上香子さんの受賞記念に、この方が働いておられた大阪ビジネスパークから見た大阪城の水彩画（次頁写真）をご寄贈いただいたことで、この絵は今でも視聴学習室に飾られています。

西原浩先生のご冥福を心より祈念いたします。



西原浩先生ご逝去の報に接し

大阪学友・同窓会会員 三上 香子

西原先生には、大阪学習センターに絵画を寄贈していただきました。これは、京橋のOBPビルからの景色を西原先生ご自身が描いてくださった水彩画（掲載写真）で、放送大学を心から愛した亡き学友「Aさん」に関わりのある出来事でした。詳しくは「みおつくし第65号」にご紹介されています。

西原先生に最後にお会いしたのは、平成29年5月に開催された公開講演会でした。そこでは幼少期から電気機器の仕組みに興味をもち、好きなことを遂行するなかで人々と出会い、研究者になられた西原先生のご経歴がわかりやすく話されました。そのとき会場は満員で、外にも「西原先生に一目会いたい」という学生や同窓会会員があふれていました。

公開講座の後、前センター長の西田正吾先生のお計らいで、西原先生と私ともう一人の学生の4名で会食の機会をいただきました。西原先生は、Aさんとの思い出話を「そうだったねえ」と目を細めて聞いてくださいました。西原先生は、プライベートでも温かいお人柄がにじみ出る、魅力的な先生でした。

私は、西原先生の「三上さんは、受容力があるんですね。しかし雷の私の説明に対しては受容力がないのはどうしてでしょう」というご質問に、きちんとお答えすることができないままになっていることが悔やまれてなりません。もっと雷について話したかった。

西原先生のご冥福をお祈り申し上げます。



「大阪城—ツイン21 OBPタワーから—」
(図書・視聴学習室)

美術部より、西原先生の思い出

前美術部部长 木村 雅裕

西原先生には、美術部の活動に際して、大変お世話になりました。

2004年に約20名の部員で美術部を発足し、翌年には美術展を催したいとの気運が盛り上がりました。当時の所長でした西原先生に相談したところ、美術部としての美術展ではなく、一般学生や職員からも広く作品を募集して、大阪学習センターの美術展にしてくださいとのことでした。美術展では、金、銀、銅賞を表彰しようと企画し、作品をどう選考するかと悩み、恣意的にならないよう、美術展に来場された方からのアンケートにより決めることにしました。美術展の開催にあたり、西原先生が助成くださり、金賞は、学習センター所長賞として、また銀賞、銅賞にも、事務長賞、美術部長賞として、それぞれ副賞の図書カードをお渡しできることになりました。

西原先生は、毎回素晴らしい作品を出展くださり、それらが大変良い作品ばかりでしたので受賞対象となることから、3回目からは、西原先生の作品は招待作品として出展いただきました。

西原先生は、先生自ら声をかけてくださり、親しみやすく、気兼ねなく話せて、ユーモアもあり、楽しいひとときを過ごさせていただいたことに感謝いたしております。

絵画をご寄贈いただきました

昨年11月に、西原浩先生のご遺族より、水彩画「同志社大学クラーク記念館」、「鶴見緑地公園風車と花見の丘」の2作品（表紙写真）を、大阪学習センターへご寄贈いただきました。西原先生からは、生前より多くの絵画作品をご寄贈いただき、センターに飾らせていただいております。

ご来所の際には、ぜひご覧ください。

【特集】大阪学友・同窓会だより



★入会のご案内 新入生をはじめとした在生学生も歓迎です★

ご入学された方、おめでとうございます。

大阪学友・同窓会は同窓会としての役割のほかに、学友会としての役割を持っています。

もちろん新入学された方を含め在生学生の方のご入会も歓迎します。終身会費 10,000 円です。

大阪学友・同窓会の情報は随時ホームページ (<https://oujosakagd.wixsite.com/oujogd> 「大阪学友同窓会」で検索) や学習センター掲示板で提供しております。

★Web 懇談会・勉強会を開催予定です★

3 月 26 日に卒業祝賀懇親会を開催し、Web 中継を交えて盛会となりました。

引き続き懇談会・勉強会を企画しております。開催の際は改めてお知らせします。

★Zoom アカウント (時間制限なし) 貸し出します★

Zoom の無料アカウントは 40 分の時間制限があります。

放送大学同窓会連合会が提供し、大阪学友・同窓会の所持する有料アカウントを学生・同窓生の方に無料で貸し出しをいたします。このアカウントで主催すれば時間制限なく会議を開催できます。

対象：

会議主催者の方が大阪学習センター所属の学生もしくは大阪学友・同窓会の会員の方。会議利用者は学内をはじめとして、学外の方でも可能です。

学習・サークル活動・学生交流・地域貢献に資するものであれば用途は問いません。

(Web ミーティング・懇親会などでもOKです)

申し込み方法：

oujosakadousoukai@gmail.com へお名前と使用用途・希望日時をお伝えください。

先着順です。※予告なく終了することもあります。

★バッジ (まなびー・シンボルマーク) スタンプ帳web頒布中★

事務室のご協力により大阪学習センター窓口にスタンプが配備されております。

大阪学友・同窓会がスタンプ帳を作成しました。再開した他センターの面接授業のお供にぜひどうぞ。

放送大学同窓会連合会が作成したバッジ (まなびー・シンボルマーク) も併せて取扱いしております。各 500 円です。

右の QR コードもしくは大阪学友・同窓会のホームページからお申込みいただけます。

※バッジのみをご希望の方はメール (oujosakadousoukai@gmail.com) でご連絡ください。



【文責：大阪学友・同窓会副代表世話人 (みおつくし担当) 古川 徹】

開催案内



各イベントは、変更・中止となることもありますので、大阪学習センターのウェブサイト等で随時ご確認ください。



卒業研究履修ガイダンス

卒業研究を2024年度に始められる方を対象に、**2023年6月17日(土)**に、対面及びオンラインによるガイダンスを予定しています。論文作成に興味・関心があり、普段の学習成果を纏めたいと考えている方は、ぜひご参加ください。

※詳細は、後日、大阪学習センターウェブサイトでお知らせします。



2023年度第1学期学習支援の集い

新入学生及び在学学生を対象にした学習支援の集いを実施予定です。

学生生活を送る上で生じた疑問、授業履修の仕方、単位認定試験にむけて経験談や対策など、先輩学生(世話人)が相談に応じます。現在お困りの学生さんだけでなく、情報収集や今後の学習のために、積極的にご参加ください。

日 時：2023年6月17日(土) 14:00~16:00
場 所：セミナー室(6階)
出席者：先輩学生、所長、センター職員
申込方法：事務室窓口もしくは電話(06-6773-6328)でお申込みください。



**「学習支援の集い」のお手伝いをして頂ける先輩在学学生を募っています！
ご協力いただける方は、事務室へご連絡ください。**

2023年度卒業研究チャレンジ勉強会

大阪学習センターでは、独自の取り組みとして、卒業研究へのチャレンジをサポートする卒研チャレンジ勉強会を開催しています。論文作成の手順、研究テーマの設定等取り組む上での疑問などを経験者が一緒になって考えます。関心のある方はぜひご参加ください。

日 時：2023年6月24日(土) 10:00~
場 所：セミナー室(6階)
※詳細は、後日、大阪学習センターウェブサイトでお知らせします。



2023年度修士チャレンジ勉強会

大阪学習センターでは、独自の取り組みとして、修士チャレンジ勉強会を開催します。修士課程へ進学を目指す学生に対し、様々な疑問などについて経験者が一緒になって考える勉強会です。関心のある方はぜひご参加ください。

日 時：2023年6月24日(土) 13:00~
場 所：セミナー室(6階)
※詳細は、後日、大阪学習センターウェブサイトでお知らせします。



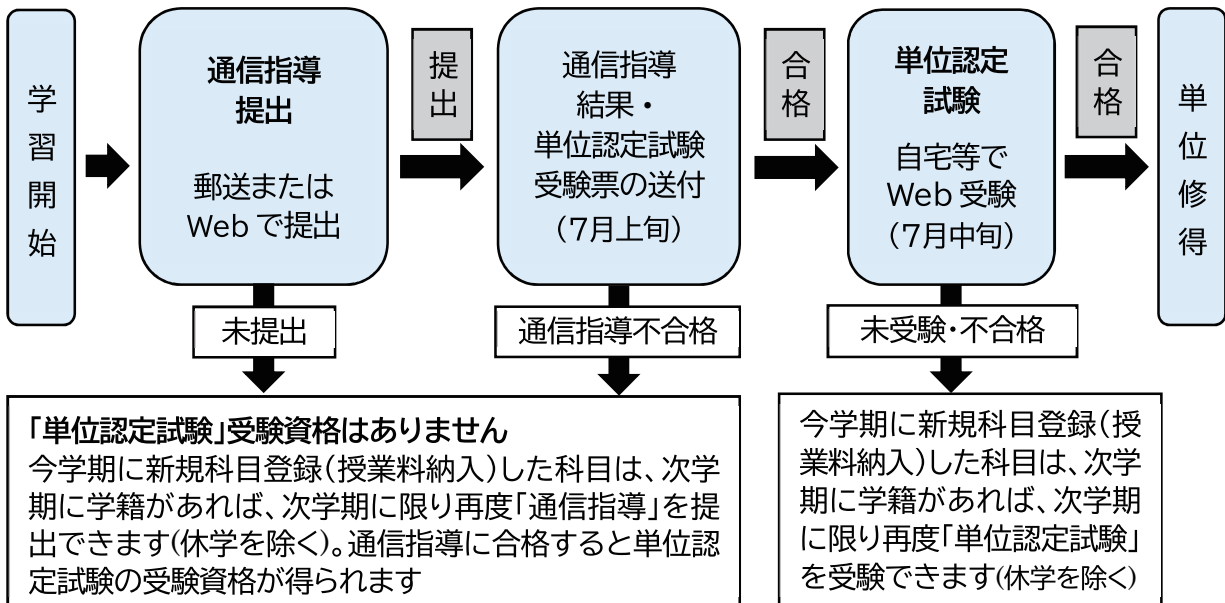
事務室からのお知らせ



1. 単位修得に向けて

通信指導や各課題などの提出物は、期間内に提出しましょう。
2023年度第1学期の単位認定試験は自宅等でのWeb受験です(一部の科目は郵送方式)。
大学本部からの送付物を熟読の上、単位修得に向けて学習を進めましょう。

放送授業・単位認定試験を実施するオンライン授業



通信指導について

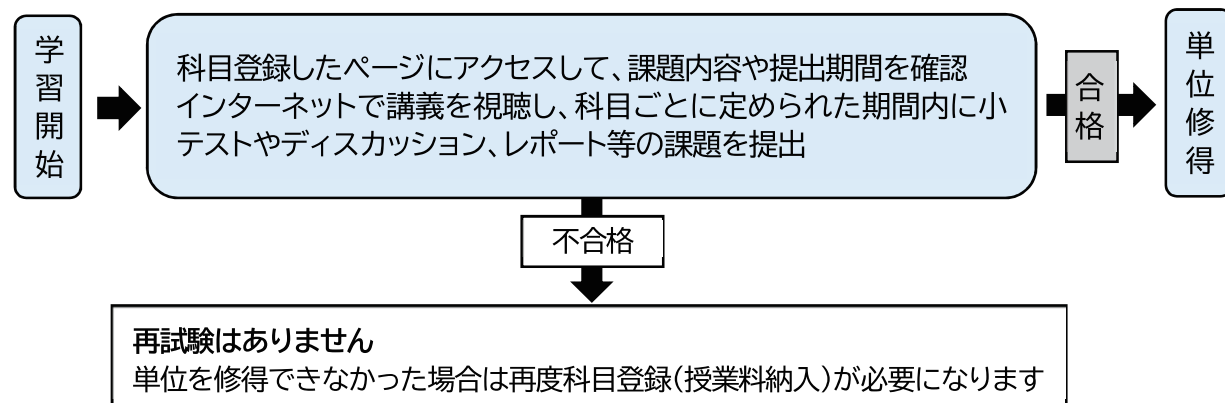
通信指導問題は印刷教材と一緒に送付されます(一部の科目については別送あり)
5月9日(火)までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部(Tel 043-276-5111)までご連絡ください

通信指導提出期間

Web: 5月 9日(火)10時~5月30日(火)17時

郵送: 5月16日(火)~5月30日(火)必着 ※学生生活の葉61ページ「通信指導」を参照

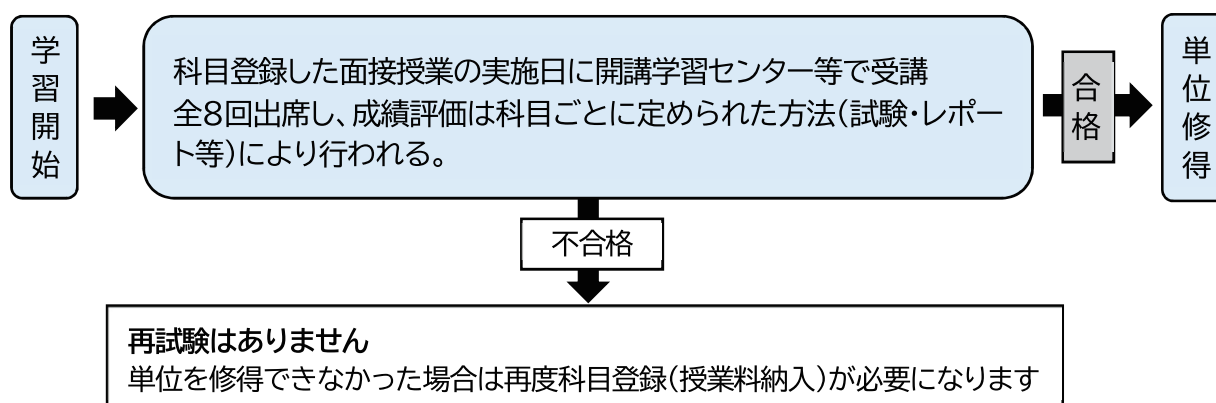
オンライン授業



面接授業

受講科目を確認してください！

システムWAKABAの「履修情報」または3月上旬に本部から送付された「科目登録決定通知書・払込取扱票」に科目登録申請した面接授業科目が記載されているか必ず確認してください。定員を上回る申請があった場合は抽選となります。**科目登録申請したにもかかわらず「科目登録決定通知書・払込取扱票」に記載されていない科目は落選した科目のため、受講できません。**



受講にあたってのお願い

大阪学習センターでは感染症対策を講じた上で実施いたします。
面接授業を受講する際には、以下の事項を確認、了承のうえ、受講してください。
(状況により閉講や zoom 授業へ切り替わる場合があります。)

◆検温・体調確認(以下の方は来所をお控えください)

- ・ 37.5 度以上もしくは平熱と比べ 1 度超過の発熱がある方。
- ・ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ、咳・咽頭痛などの症状がある方。
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる、もしくは感染可能性の症状がある方。

◆持ち物確認(事務室での貸し出しは致しません)

- ・ 筆記用具、学生証、その他シラバスに記載されている各自で準備する持ち物。
- ・ 学生証を交付(更新)されていない方は入学許可証または期限切れの学生証を事務室に持参して下さい。所属センターでの交付になります。

◆その他

- ・ センター内では消毒用アルコールを設置します。十分な感染対策にご協力ください。
- ・ **大阪学習センターに駐車場はありません。**お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。
- ・ 大阪教育大学内の食堂は人数制限し、営業しております(持ち込み禁止です)。
- ・ 昼食を持参される方は講義室の自席または学生控室でお召し上がりください。

2. 単位認定試験について

2023年度第1学期単位認定試験はシステム WAKABA を利用した自宅等での Web 受験方式 (1科目50分) です (一部の科目については郵送方式)。

Web 単位認定試験期間: 2023年7月15日(土)9時～7月25日(火)17時

Web 単位認定試験の提出までの操作を体験していただける、「Web 単位認定試験体験版」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作について、「Web 単位認定試験体験版」で必ずあらかじめご確認ください (学習センターで受験する方は各学習センターでの操作体験会にご参加ください)。

【体験版のアクセス方法】

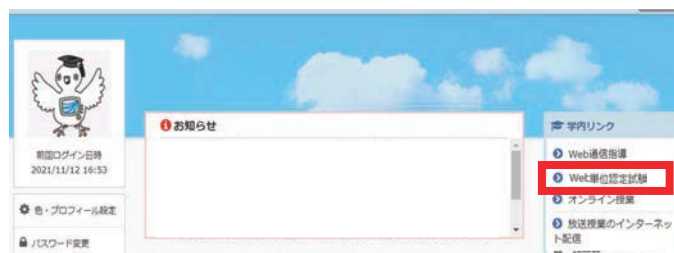
① システム WAKABA にログインします。

一定期間経っても初期パスワードを変更していない場合はロックアウトされ、システムにログインできなくなります。初回ログイン時は必ずパスワード変更を行ってください。
ログインできない方は大学本部または学習センターまでご連絡ください



② システム WAKABA の TOP 画面右側「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

詳細な操作方法は Web 単位認定試験体験版画面左側「操作ガイド」をクリックしてご確認ください



インターネット環境がない、またはパソコン操作が困難な方へ【**要申請**】

「Web 受験方式」の科目について、Web 受験が困難な方は申請を行うことで、単位認定試験を学習センターで受験することができます。

「Web 受験方式」の科目を学習センターで受験する場合、以下のことにご注意ください。

- ① 「Web 受験方式」の科目を学習センターで受験する場合、「授業科目案内」及びシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験する必要があります (ただし、学習センターの受入状況により、個別に学習センター受験日時調整をお願いすることがあります)。
- ② 学習センターで受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センターのパソコンを用いてご自身で行っていただきます。(記述式の解答のみ解答用紙で行います。)
- ③ 6月上旬～7月上旬にかけて学習センターで行う操作体験会に、ご参加ください。
- ④ 「郵送受験方式」の科目については、パソコンは使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。

上記注意事項を踏まえ、学習センターでの単位認定試験受験を希望する方は、申請期間内に郵送により申請してください。

申請方法

- 【申請様式】：「**学習センター受験申請書**」(印刷教材等に同封しています※)
※印刷教材の発送がない方の場合「**学生生活の葉**」等に同封しています
- 【申請期間】：**2023年4月1日(土)～2023年5月24日(水)《必着》**
- 【申請宛先】：〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

申請された方には Web 単位認定試験システム体験版の操作機会を提供します。

Web 単位認定試験システム体験版の操作機会提供について

単位認定試験期間までに必ず体験版の操作を行っていただくこととしておりますが、**自宅での操作体験が困難な方には、2023年6月上旬～7月上旬**にかけ、**学習センターで操作体験の機会を提供します。**

実施日時等詳細は、「**学習センター受験申請書**」を提出いただいた方に対し、**随時ご案内を送付いたします**ので、ご予約の上ご参加ください。

3. その他

■ 学生証について

- 学期開始後、「**入学許可書**」または、「**有効期限の切れた学生証**」をセンターに持参してください。
- 顔写真登録ができていない場合は発行できません。
未登録の方は、予め、システム WAKABA で写真登録するか、「**学生生活の葉**」巻末の様式にて写真を**大学本部へ送付**してください。



★郵送での申請方法★

事情により大阪学習センターに来所できない方は、特例として郵送で交付いたします。
封筒に以下①②の2点を入れて、大阪学習センターまで送付してください。

- ① 「**入学許可書**」のコピーまたは**有効期限の切れた学生証**
- ② **レターパック (ライトまたはプラス)**
※返送先住所、あて名明記のこと



返送には数日かかります。

なお返送用封筒は、レターパック(ライトまたはプラス)以外に対応できません。

古い学生証を手元に置きたい場合は、旧学生証返却希望の旨を記載したメモを同封してください。

■ WI-Fi の利用について

これまで図書・視聴学習室に限定されておりました無線 Wi-Fi を、2023 年度第 1 学期より、センター内(6 階・7 階)でご利用いただけるようになりました。
ご利用には、センター窓口で申請が必要です。



★利用申請方法★

- ①窓口でお渡しする「無線 LAN 使用申請書」に必要事項を記入。
- ②「サイバーセキュリティ研修」を受講し、小テストに合格すると発行される「修了証」を窓口で提示。
※システム WAKABA>学内リンク>放送大学自己学習サイト>情報セキュリティ研修(学生用)
- ③「無線 LAN 使用許可書(パスワード・認証用 ID)」発行
※有効期限は在学期間中
- ⑤各自で接続設定

■ 事務室の複写機について

大阪教育大学生協同組合が、学習センター内に設置している複写機は、「5 月末」で撤去されます。以後は、中央館 1 階(平日 10:30-21:20)または天王寺キャンパス 学園ホール(食堂営業時間内)のコイン式複写機をご利用ください。
現在、大学生協コピーカードをお持ちの方は、2024 年 1 月末までに、学園ホール内の大阪教育大学生協天王寺店窓口で、残度数に応じて返金手続きが可能です。
生協天王寺店の営業日・時間をご確認のうえ、お早めに手続きをお願いします。



5月末まで

■ センターの利用時間について

事務室窓口・電話対応業務を以下時間帯に休止します。図書・視聴学習室の閉室はしませんが、新規入室・退室はできません。
ご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

【休止時間帯】 4 月 1 日(土)~5 月 8 日(月) 11:30~12:30

— 暖かな日の所長室窓辺より —



図書・視聴学習室からのお知らせ



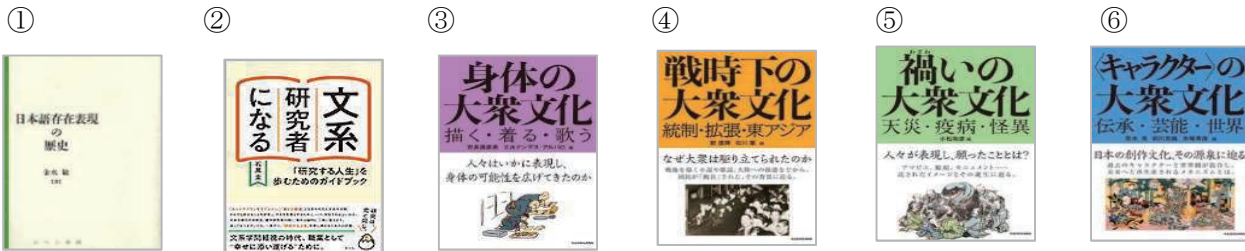
◆所長・客員教員推薦図書のご紹介

金水所長および客員教授による推薦図書を図書・視聴学習室に配架しました。ぜひ、日頃の学習にお役立てください。

◆金水 敏所長推薦①～⑥



- ① 日本語存在表現の歴史 金水 敏著(ひつじ書房 2006年)
- ② 文系研究者になる 石黒 圭著(研究社 2021年)
- ③ 身体の大衆文化 描く・着る・歌う 編:安井 眞奈美/エルナンデス・アルパロ(KADOKAWA 2021年)
- ④ 戦時下の大衆文化 統制・拡張・東アジア 編:劉 建輝/石川 肇(KADOKAWA 2022年)
- ⑤ 禍いの大衆文化 天災・疫病・怪異 編:小松 和彦(KADOKAWA 2021年)
- ⑥ <キャラクター>の大衆文化 伝承・芸能・世界 編:荒木 浩/前川 志織/木場 貴俊 KADOKAWA 2021年)



◆長谷川 義仁先生推薦⑦～⑪

- ⑦ 権利のための闘争 イェーリング著 訳:村上淳一(岩波文庫 1982年)
- ⑧ 日本人の法意識 川島 武宜著(岩波新書 1967年)
- ⑨ 嘘の効用 (上) 末弘 厳太郎著 編:川島 武宜(富山房百科文庫 1988年)
- ⑩ 嘘の効用 (下) 末弘 厳太郎著 編:川島 武宜(富山房百科文庫 1994年)
- ⑪ 法とフィクション 来栖 三郎著(東京大学出版会 1999年)



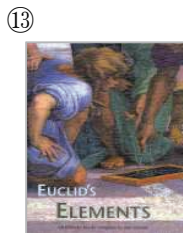
◆小林 秀敏先生推薦

- ⑫ 折紙の数理とその応用 監修:日本応用数理学会 編:野島 武敏/萩原 一郎(共立出版 2012年)



◆小林 治先生推薦

- ⑬ EUCLID'S ELEMENTS: all thirteen books complete in one volume 編:Dana Densmore/翻訳:Sir Heath, Thomas Little (GreenLionPress 2002年)



図書・視聴学習室の配架棚

◆ 利用時間について

図書・視聴学習室の利用時間は次のとおりです。



期 間	曜 日	利 用 時 間
通常期間	火～日 (祝日は除く)	9 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0
単位認定試験実施期間 学期末 (9/24～9/30、3/25～3/31)		利用できません

※ 下記期間の時間帯は、図書・視聴学習室は閉室しませんが、新規入室・退室はできません。ご利用の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

・4月1日(土)～5月8日(月) 11:30～12:30

※ コロナ禍の中、**利用時間が変更**になることがありますので、**大阪学習センターウェブサイト**をご確認の上、お越してください。

◆ 利用について

- * 入室の際は、利用者の中には高齢者もおられるため、引き続き**マスクの着用にご協力をお願いします**。
 - ・体調の悪い方は、入室をご遠慮ください。
- * 貴重品・学習に必要なもの以外の持ち込みはできません。
 - ・荷物はロッカーに預けてください。
 - ・貴重品及び学習に必要なものを持ち込む際は、書類カゴをご利用ください。
- * 飲食物の持ち込みは**原則禁止**です。
 - ・但し、蓋のついたペットボトル飲料、水筒等の持ち込みは可です。
- * 室内では携帯電話は、必ず**マナーモード**に設定し、通話をご遠慮ください。



マナーを守り、図書・視聴学習室を気持ちよくご利用いただくために、
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【利用手順】

- ① 入室の際は、事務室窓口で**学生証を提示**し、「**利用確認書**」と**書類カゴ**を受け取る。
 - *ヘッドホンを利用される方は、図書カウンターに申し出てください。
- ② 図書・視聴学習室で利用した内容を「**利用確認書**」に**記載**する。
- ③ 退室の際は、図書カウンターに「**利用確認書**」と**書類カゴ**を返却する。

◆ 図書の貸出について

- * 貸出は放送大学附属図書館で一括して行います。
 - ・インターネットを利用した蔵書検索システム【OPAC】で附属図書館所蔵の一般図書・印刷教材等の検索・貸出予約・取寄せが可能です。
- 詳しくは、放送大学附属図書館ホームページ等でご確認下さい。

【放送大学附属図書館・貸出冊数】

利 用 者	冊 数	貸出期間
本学の学部学生	10 冊	1 ヶ月
卒業研究履修生	20 冊	
本学の大学院学生 (修士)	20 冊	
本学の大学院学生 (博士)	30 冊	



- * 学習センター配架図書は、センター内で閲覧することができます。
- * 学習センターでの附属図書館貸出図書の受取・返却は可です。

キャンパススケジュール



4月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

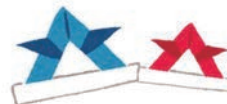
- 2日 2023年度第1学期入学者の集い
- 5日 オンライン授業開始（～7月中旬）
- 9日 第4回こぼれ音楽祭
- 15日 大阪学習センター面接授業開始（～7/9）
面接授業空席発表（12:00頃）
面接授業追加登録事前申請受付開始（12:00頃～）
（～4/19 17:00 郵送で必着）
- 20日 面接授業追加登録抽選（10:00頃）
面接授業先着順追加登録開始（12:00頃～）

【センター窓口・電話休止時間帯】 4月1日（土）～5月8日（月）11:30～12:30

5月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 1日 夏季集中型（司書）科目登録・出願
【郵送】受付開始（～5/31）【Web】（～5/30 17:00）
- 9日 【Web】通信指導提出開始（～5/30 17:00）
- 16日 【郵送】通信指導提出開始（～5/30 大学本部必着）



6月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 10日 2023年度第2学期学生募集開始（郵送・Web）
（第1回出願 6月10日～8月31日※私書箱必着）
（第2回出願 9月1日～9月12日※私書箱必着）
2024年度修士・博士全本科生募集要項配布開始
2023年度第2学期修士選科・科目生募集要項配布開始
- 17日 卒業研究履修ガイダンス
第1学期学習支援の集い
- 24日 卒業研究チャレンジ勉強会
修士チャレンジ勉強会

□ … 閉所日+臨時閉所日



記載内容は予定であり、変更・中止となる
こともありますので、大阪学習センターの
ウェブサイト等で随時ご確認ください。



サークル紹介

現在、大阪学習センターでは、18のサークルが活発な活動を行っています。今回は、「放送大学関西陸上競技部」と「放送大学おおさか若者のつどい」の活動内容をご紹介します。

放送大学関西陸上競技部

「スポーツの持つ“可能性”」

早いもので、ここ大阪学習センターにて産声をあげてから3年のときが経とうとしています。私たちは、「通信制大学」として初めてインカレ（注：大学対校戦）に出場したり、大学対校駅伝に出場するなど、新しい歴史を作ってきました。

申し遅れました、関西陸上競技部と申します。大阪学習センター唯一の「体育会系サークル」として、仕事や勉強の合間を縫って日々陸上競技の練習に励んでいます。主な活動内容としては、月1~2回程度集まって近くの銭湯で汗を流しつつ、だらだらとお酒を呑みながら将来の不安、仕事の愚痴を語りあい、傷の舐め合いをしています…。いえ、30分から1時間程度汗を流し、レースでお互いの目標を達成できるよう励まし合っております。

さて、コロナ禍は様々な業界・物事に影響を及ぼしましたが、ことスポーツにおいてもその影響は大きかったと思います。なにより、2020年に開催を予定していた東京オリンピックが1年間の延期を経て、それも無観客での開催となりました。2021年に関西で予定されていたワールドマスターズゲームは2022年に延期となり、さらに再延期が決定、2025年の台湾大会を経て2027年に戻ってくるようです。いずれも、本来であれば観客席は国内外からの要人やスポーツファンで埋め尽くされ、多くの経済効果があったことでしょう。それらの影響でスポーツに対する“熱”も冷めてしまったのでしょうか、例年であればすぐに定員オーバーとなり、出走権獲得が難しい「大阪マラソン」が定員割れし、追加募集をしていたことは誠に残念でなりません。

それでも、私たちの情熱は尽きません。私たちの活動を応援していただいている大阪学習センターの皆さんとともに、スポーツを通して放送大学を盛り上げたいと思っています。幸いにも、今年是一緒に走りたいと言ってくれた入学希望者が過去最高人数となりそうで、今からワクワクが止まりません。そして、来年はもっとビッグなことに挑戦するかもしれません。お楽しみに。

【文責：全科履修生 藤本 純司】



放送大学おおさか若者のつどい

放送大学おおさか若者のつどいは2021年6月1日設立した新しいサークルです。

サークル設立を目指した当時、若年層にスポットを当てた若者の集いは千葉だけにしかなく（現在は廃部しており大阪のみ）大阪にも若年層が交流できるサークルがあればなと思いました。その理由は、コロナ禍前までの学習センターで行われていた単位認定試験時には、同年代の人たちがたくさんいるのに普段の休日は数名しかいない状態で、もっと同年代の人と交流する場があればなと思っていた時に千葉若者の集いを知り、大阪でも作りたいたいと思って、まずは身近な学友に声をかけ、タイミング良く千葉若者の集いの役員が関西に戻ってくるといことで一緒に立ち上げに駆け組みました。

サークル設立に向け動き出した2020年の2月頃からコロナ禍となり、実際に集まったのは2020年2月22日の1回だけでその後はオンラインでの交流等で活動を地道に続けたのちサークル設立となりました。

2021年の後半から学習センターが使用できるようになりサークル活動ができるようになったので学習センターでの活動ではオンラインで繋ぎハイブリッド型で交流や講演会等を行いました。サークル設立までオンラインで活動していたこともあり、大阪だけではなく各地域のメンバーも多数います。現在はUSJ企画や、大阪メトロのスタンプラリー企画、

他地域のメンバーが大阪に来阪の際に日程を合わせ大阪観光等の学外活動を中心に月一回の土曜日から日曜日を活動日とし、メンバー同士の親睦を深めています。各地域のメンバーが参加しやすいように定期的にオンラインでの交流会も継続しています。

普段孤独な放送大学生の同年代が集って交流できるかけがえのない場をこれからも目指していき、今は大阪だけですがいつか各地に若者のつどいができるよう取り組んでいきたいと思っています。10代~40代の皆さん、同年代の私たちと楽しい大学ライフを過ごしませんか？

【文責：代表 全科履修生 多田 和恵】



2023年度10月入学生を募集します!

— 入学資格は「学びたい」という気持ち —

ご家族、ご友人、お知り合いの方で、放送大学に関心をお持ちの方のご紹介をお願いします。
お名前、住所、電話番号、学部又は大学院の希望種別を事務室までお知らせください。
2023年第2学期学生募集要項を、無料で送付いたします。

- * 教養学部：全科履修生・選科履修生・科目履修生
- * 大学院文化科学研究科：修士選科生・修士科目生

第1回募集	2023年6月10日(土) ~ 2023年8月31日(木)
第2回募集	2023年9月1日(金) ~ 2023年9月12日(火)

※第1回・第2回募集の詳細は、放送大学ウェブサイトをご参照ください。



編集・発行 放送大学 大阪学習センター

〒543-0054 大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88

(大阪教育大学天王寺キャンパス内)

電話：06-6773-6328 / FAX：06-6773-6322

ウェブサイト：<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/osaka/>

